

新潟県支部「田植え」の報告です。

4年目になる「新潟・米作りプロジェクト」田植えを、6月3日（土）、新潟県柏崎市の上野さん（同窓会本部委託生産者）の田んぼで行いました。



まずは記念撮影

今回の記録的大雨で、新潟県でも前日（6/2）は一日中雨。当日（6/3）も田んぼの排水が間に合わず、水がなかなか引かないため苦戦しました。

手植えは予定の30%で終了。田植え機の使用も明日以降に延期されました。



教わりながらの手植え

関西方面から初参加の方は、大雨で電車が止まることを予測し、計画的に移動してこられたとのこと。「体験」と「交流」は楽しかったと感想を述べられました。感謝がありません。

この活動は、同窓会活動における在校生支援の一環として行っており、強化クラブ学生のさらなる体力向上、支部活動の活性化、立正大学の知名度向上、在校生への同窓会活動の認知などを目的に実施しています。秋には、稲刈り。無農薬・無化学肥料栽培（平成14からずっと）の「新潟コシヒカリ720kg（800kgの玄米を精米します）」が熊谷キャンパスに届く予定です。



看板を信越本線線路脇に設置

昼食はすべて上野さんの奥さんが用意してくださいました。献立は、「ちまき」。甘いきな粉を付けて食べます。「わかめと筍の味噌汁」「ぜんまいの煮物」「わらびの漬けもの」



本日の主食「ちまき」

その後は、「じよんのび村」まで移動（車で20分）。温泉で汗を流しました。



ぜんまいの煮物がうまい！

“じゃらんクチコミ温泉部門100点満点”を獲得したというだけあって、すべすべ感は半端ありません。

なお、作業できなかった部分（ほとんどですが・・・）は、6/4午後、上野さんがていねいに手植え、そして猛スピード？での機械植えをして無事終了しました。稲刈りは9月30日（土）に実施します。興味のある方はぜひおいでください。

新潟県支部長 吉田 存祐 事務局長 荒井 順也